

地域と共生する超小型モビリティ 第5回勉強会資料

駐車場を取り巻く現状と課題

一般社団法人 全日本駐車協会
専務理事 黒田和孝

全日本駐車協会の概要

設 立 昭和32年4月17日 (駐車場法 昭和32年5月16日)

会員数 533社 (平成29年6月現在)

各地展開 20地区協会

札幌、山形、仙台、福島県、新潟、高崎、茨城県、埼玉、千葉市
東京、横浜、静岡県、名古屋、全京都、兵庫県、岡山、広島
高松市、福岡

友好団体等 (公社)立体駐車場工業会
(一社)日本自走式駐車場工業会
(一社)日本パーキングビジネス協会



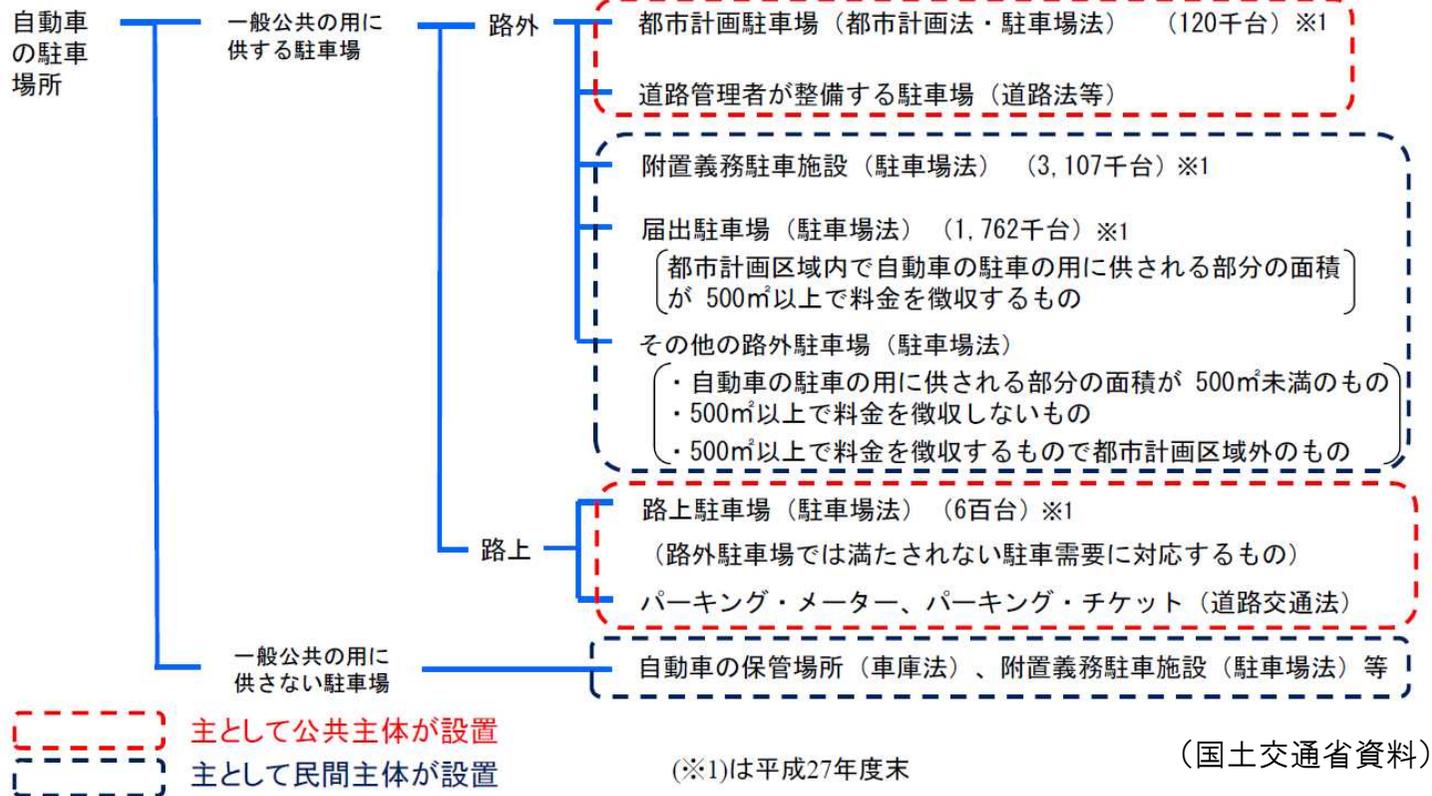
駐車場所について



様々な使われ方、形式がある

法律面からみると・・・

自動車の駐車場所は、一般公共の用に供する駐車場と、一般公共の用に供さない駐車場に大別される。



駐車場法、道路交通法、車庫法など、複数の法律を根拠として存在

ビジネスとしての特徴

- ▶ 都市機能としての公共性を持つ
 - ……人々の移動手段の一翼を担う
- ▶ 参入障壁がほとんど無い
 - ……経営環境が容易に変わる
- ▶ 立地の影響が大きい
 - ……大都市 vs 地方都市
 - 中心市街地 vs 郊外

駐車場を取り巻く環境－1

- バブル経済崩壊後、厳しい経営環境が続く
 - ・・・地方における中心市街地の疲弊
 - 新たな事業モデルであるコインパーキングの登場
- 量から質の時代へ
 - ・・・登録台数の頭打ち傾向と駐車場整備の進捗、路上駐車台数の減少
- コンパクト&ネットワーク政策への対応
 - ・・・立地適正化計画の実行を通じた再配置や、新たな機能の付加

駐車場を取り巻く環境－2

- ▶ 少子高齢化等への対応

 - ……バリアフリー、障害者等用駐車スペース

- ▶ 多様な種類の車両への対応

 - ……自動二輪車、EV、荷捌車両、大型バス

 - ← 運営上の課題として対処すべき大きな要素

これから目指すべき方向は？

選ばれる駐車場となるためには……

立地、市場の特性に応じた最適な形を模索中

- ▶ IT等による新ビジネスモデル、技術革新の取り入れ
 - … 予約仲介、シェアリング、ETC2.0、自動運転技術との協調
- ▶ 技術の徹底活用 VS ハイタッチな運営
 - … 大きな流れは二極化の方向 最適なバランスを
- ▶ サービス産業化・付加価値の提供
 - … 複合機能化、交通結節点としての役割強化

超小型モビリティへの視線

- ▶ どのようなサービスを生活者へ提案していくのか？
 - …… 移動選択肢(オルタナティブ)の提供
市場発展性(国内、海外)
- ▶ ビジネスベースに載せる仕組みは？
 - …… 付加価値の提供が収益向上につながる
シナリオが必要(特に民間事業者)

超小型モビリティを普及させるには

- 提供する利便やサービスに価値を見いだせるか？
 - … $\text{プロダクト} \times \text{ソフト} = \text{価値}$
- 提供する価値が中期的に継続する仕組みを築けるか？
 - … 現状よりも使いやすい環境になっていく、或いは制度見直しの実現等
- 駐車場ではなく、駐車場所の発想で考えてみては如何か？
 - … 利用者の視点からは、便利な場所に車両があれば何処でもよいはず

ご清聴ありがとうございます 全日本駐車協会



駐車場は変わりつつあります

もっと身近に、もっと使いやすく

<http://www.japan-pa.or.jp/>